

## ▼アディノバイト静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ルリオクトコグ アルファ ペゴル 【分類】ペグ化遺伝子組換え血液凝固第VIII因子製剤

【単位】▼500IU・▼1000IU・▼2000IU/V [溶解液付き]

【常用量】10～30IU/kg ■定期的投与では40～50IU/kgを週2回 [1回最大60IU/kgまで]

【用法】ゆっくり静注 [添付溶解液5mLで溶解]

【透析患者への投与方法】

【保存期 CKD患者への投与方法】

【特徴】遺伝子組換え血液凝固第VIII因子ルリオクトコグ アルファの効果持続時間を延長する目的でPEG化した製剤。

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, 注射部位の疼痛, 関節痛, 消化器症状など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】血液凝固第VIII因子部分は各構成アミノ酸及びペプチドに代謝, PEG骨格は胆汁および尿を介して排泄 (1)

【排泄】分解されて肝・腎経路で排泄 (1)

【CL】2.5mL/hr/kg (1)

【t1/2】MRT20hr, 線形半減期として14hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】0.05L/kg (1)

【MW】■26.9万 [蛋白質部分] ■約33万 [PEG追加]

【透析性】透析されない (5)

【O/W係数】

【小児CKD患者における報告】12歳以上の患者に適用 [安全性未確立] (1)

【更新日】20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。